

【様式1】

令和6年度事務事業評価（事後評価）  
（令和5年度実施事業）

事業の概要（Plan・計画）				課コード	3103	事業番号	01
部局室名	消防局	課所名	警防課	担当名	奥	連絡先	974-0104
事業名	消防自動車等整備事業		事業の実施方法	直接実施		事業開始年度	H24
						事業終了年度	-
事業の分類①	市独自事業						
事業の分類②	その他						
根拠法令	消防組織法第6条 消防力の整備指針						
事業内容	複雑多様化する各種災害に対応するため、計画的に消防車両の更新を行う。						

事業の実施（Do：実施）		令和4年度	決算	令和5年度	当初予算	令和5年度	決算	令和6年度	当初予算	
		人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	
事業費等	人件費	①常勤職員	0.70	5,740,000	0.70	5,880,000	0.70	5,810,000	5,880,000	
		②会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0	0	
		合計A（①+②）	0.7	5,740,000	0.7	5,880,000	0.7	5,810,000	5,880,000	
	事業費内訳	①国・県支出金	52,396,000							
		②市債	105,800,000		66,900,000		61,300,000		77,300,000	
		③その他の財源								
④一般財源		39,584,000		23,100,000		28,350,000		38,700,000		
	合計B（①～④）	197,780,000		90,000,000		89,650,000		116,000,000		
	総事業費合計（A+B）	203,520,000		95,880,000		95,460,000		121,880,000		
	事業費が増減した理由	更新する車両及び台数により増減する。 R4：救助工作車1台 R5：指揮車1台・水槽付消防ポンプ自動車1台 R6：消防ポンプ自動車2台								
成果	成果指標	更新車両の台数			R3年度	R4年度	R5年度	達成度		
	成果指標の説明	更新計画に基づき消防車両等の更新を行う。			目標	0台	1台	2台	A	
事業の実績	実績	0台			1台	2台	目標を達成した、または目標を上回って達成した			
		更新計画に基づき、配備から15年以上経過した消防車両2台の更新、整備を行った。								

事業の評価（Check：見直し）		評価内容の説明		
評価の視点				
必要性	社会的なニーズ	消防用車両は、都市構造の変化等に伴う複雑多様な災害から市民の生命・身体・財産を守るため、必要不可欠なものであることから計画的に更新整備することが必要である。	委託化の可能性	なし
	市が実施すべき妥当性		委託可能な範囲	なし
	民間との連携		他市事例	なし
有効性	事業目的達成への繋が 事業見直しの必要性 ニーズの傾向	更新整備を継続することにより、車両性能の向上や環境への負荷の低減、さらには安全性の向上が図られるため、市民の生命・身体・財産を守る消防体制を整えることに寄与することができる。		
効率性	活動量の成果 将来コストの見込み 受益者負担の適正度	消防車両の機装単価、取付品及び付属品等が年々増額しているため、迅速かつ的確な災害対応活動を図るための仕様等を含めた検討に努めている。		
外部評価・包括外部監査の指摘（概要）		-		
上記に対する措置等		-		
事業を実施した上での課題等		更新する車両、資機材等の単価高騰により、購入予定としている車両及び資機材等が揃えられないのが現状である。また、今後も事業費が高額になることが見込まれるため、経年劣化等で使用できなくなってくる資機材等が更新できるかが課題である。		
総合評価		B（課題が少しあり事業の一部見直しが必要）		
総合評価の説明		市民の生命・身体・財産を複雑多様化する各種災害から保護するためには、計画的に車両、資機材等を更新することが不可欠になる。		

今後の方向性（Action:改革改善）	
今後の方向性	見直しの上継続
次年度の取組内容	更新車両の機装、取付品、付属品及び資機材を精査し、今後とも更新計画に基づき車両の更新を行う。
外部有識者の意見を取り入れる意向	なし